

令和2年度 上田市立第一中学校 グランドデザイン

第一中学校目標 『体力・気力・知力を兼ね備えた人間性豊かな生徒の育成～自己肯定感を育み自信や誇りをもつために～』

めざす生徒の姿

人の良さに学びながら自ら考え問題を解決しようとする生徒『知』

「人・物・こと」に感謝し美しいもの正しいものを大切にする生徒『気』

強い意志と相手の気持ちになって心開いた仲間づくりができる生徒『気』

意欲的に体験・経験をし、体や心をたくましく鍛えようとする生徒『体』

学校経営の重点

- 1 学力の保障 『(1)日々の授業の充実 (2)放課後学習等の活用 (3)家庭学習の充実 (4)体力づくり[徒歩による登下校の励行]』
- 2 集団適応力の育成 『(1)生活の重点[場を清め、礼を正し、時を守る]の徹底 (2)認め合う集団づくり (3)道徳教育・人権教育の充実 (4)小中連携を通しての支援』
- 3 個に応じた自立に向けた支援 『(1)特別支援教育の充実 (2)外国籍生徒支援の充実 (3)キャリア教育の推進 (4)部活動、部活動指導の充実』
- 4 安心・安全な学校づくり 『(1)いじめを許さない学校 (2)環境整備の点検・充実 (3)危機管理の意識向上 (4)体罰・ハラスメント・暴言の根絶』

【学力の保障】

- (1)一時間の授業で、学び合いの場を位置付ける。(見とどけ、言語活動の場を設ける)
- (2)水・木曜の放課後学習の充実・発展(日常の授業⇄家庭学習⇄放課後学習)
- (3)家庭学習の習慣づくり『紡ぐ』の有効活用(生徒と保護者と共に)
- (4)朝の活動(読書・ドリル)の徹底
- (5)テスト前『質問タイム』の活用

学校自己評価「授業がわかりやすい」を90%以上に!

今年度のめざす生徒の具現に向けた取組

【集団適応力の育成】

- (1)生活の重点の徹底『清掃・挨拶・時間厳守』
- (2)学級・学年活動・生徒会活動[体験活動の充実]スローガン等を意識した生徒会活動を通して、認め合う場面を設定する。
- (3)道徳・人権同和学習を全校体制で取組み、実践を通して(学年の年間指導計画)を見直し、更なる充実を図る。
※「道徳科教科会」「道徳学年会」設置
- (4)小中連携の充実(算数・数学・支援会議)
- (5)学校支援ボランティアとの連携・推進

【個に応じた自立に向けた支援】

- (1)チームによる支援(会議)、個別支援シートの活用、特別支援教育、外国籍生徒への支援を充実
- (2)キャリア教育、総合的な学習の時間でつきたい力を明確にし、3年間を見通した活動計画・実践・評価(キャリア・パスポート)を通して自己肯定感を育む
《交流、体験、ボランティア活動を通して自己肯定感を育む》
- (3)ユニバーサルデザイン化の推進

【安心・安全な学校づくり】

- (1)いじめアンケートや教育相談の実施
- (2)月2回実施する環境整備点検や安全点検
☆一中清掃(黙想⇒無言清掃)
- (3)安全教育、健康教育、情報教育などを通して危機管理の意識向上
- (4)体罰・ハラスメント・暴言の根絶に向けた職員研修
- (5)学校だより発行、HPの充実
- (6)月1回のノーメディアDay

※Ⅰ【今年度の重点的な取組】

- ①学校支援ボランティアや大学生による放課後学力アップ教室の充実
- ②学習習慣、人権同和教育、不登校問題(具体的行動目標)についての小中連携
- ③5教科において、家庭学習の課題を吟味し、『紡ぐ』を活用した家庭学習の習慣づくり(生徒と保護者と共に)
- ④指針に沿った部活動の運営・充実
- ⑤授業のねらいを明示、話し合い活動の場面づくり、学習の振り返り(つける力が身に付いたかを見とどける)を大切に授業づくりの徹底

※Ⅱ【生徒につける力が身に付いたかどうかを評価するための検証方法】

[本校での検証方法—全国学力・学習状況調査・NRT検査・定期テスト・いじめアンケート・Q-U調査・学校自己評価・授業参観 等]

- ◎ 全国学力・学習状況調査、NRT調査の正答率で全国比を上回るようにする。また、生徒質問紙の「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思うか」(R1年 68.8%)、学校自己評価の質問項目『紡ぐ』を活用し、授業で学習したことを家庭学習で復習しているか(R1年 54.0%)において、「あてはまる+どちらかといえばあてはまる」の回答割合が前年比を上回るようにする。